

宮大工が建てる自然素材の家



『宮大工新聞』

vo40

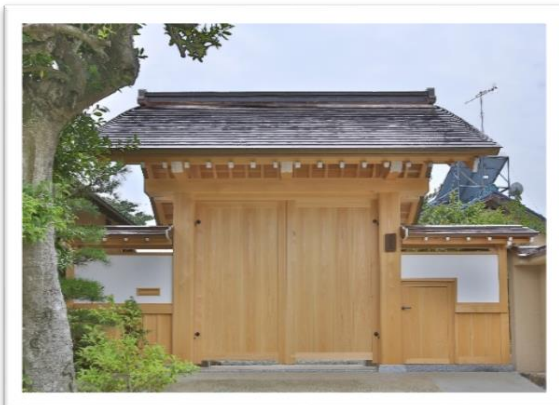
7
月号



宮大工が建てる自然素材の家「宮大工新聞」は、皆様と内田工務店を結ぶネットワークです。
京都で修業し、文化財建物木工技能者認定を受けた宮大工棟梁が手掛ける、自然素材住宅のご案内です。
安心安全な木材を使用した住宅を、皆様の手の届く価格で提供します。
日頃聞けない、宮大工ならではのお話もたくさんです。、おたのしみ！！

発行元：有限会社内田工務店
〒259-1135
神奈川県伊勢原市岡崎6682-1
Tel. 0463-93-6590

■ 薬医門が完成しました。



立派な門にはそれにふさわしいしつらえで、
もちろん建具もすべて手作りで

梅雨明け、気持ちの良い夏空の下、5月号で上棟の紹介をさせて頂いた薬医門が完成しました。

また一つ、世界に誇るべき伝統の技を次代につなぐ価値ある作品を残すことができましたこと。宮大工として、何ものにも代えがたい喜びです。

これもひとえに我が国の伝統文化、並びに私どもの仕事にご理解を頂けるお施主あってのこと。この場を借りまして、心より感謝申し上げます。

薬医門
正面



宮大工の腕の
見せ場の屋根
のラインも綺
麗に納まって
います

住宅の門です
ので、すっき
りとした起く
り（むくり）
破風で仕上げ
ました



美しい木目が格調高い趣の
軒裏もご覧ください

良い感じに仕上がりました
木鼻の彫刻です



自然素材住宅・社寺建築・茶室・古民家 設計・施工
一級建築士事務所

土壁工房 有限会社 内田工務店

〒259-1135 神奈川県伊勢原市岡崎6682-1
Tel 0463-93-6590 Fax 0463-93-6591

E-mail: uchida@miyadaiku.jp
http://tutikabekoubou.jp

「文化財修理技術保存連盟第2回全国大会」

に参加しました。

7月6日・7日 in ホテルルビノ京都堀川

7月6日(土)、7日(日)は、ホテルルビノ京都堀川で行われた、文化財修理技術保存連盟 第2回全国研修大会『技術の伝承』—ほんものをもとめて— に私、宮大工棟梁 内田幸夫も参加をいたしました。

文化財修理技術保存連盟は、『国宝・重要文化財建造物』の文化財修理工事に携わる7つの文部科学大臣選定保存技術保存団体が加盟しております。

特定非営利活動法人 日本伝統建築技術保存会
公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会
全国文化財壁技術保存会
社寺建造物美術協議会
一般財団法人 全国伝統建具技術保存会
文化財畳保存会
日本伝統瓦技術保存会

「建造物木工」
「檜皮葺 柿葺 茅葺」
「左官(日本壁)」
「建造物装飾(彩色 漆 単色漆 鍔金具)」
「建具製作技術」
「畳製作技術」
「屋根瓦葺(本瓦葺)」

今回の大会では、参加者180名が一堂にして、技術継承のために、『ほんもの』とはなにか?について話し合われました。



基調講演には、元近畿大学工学部 建築学科 教授 櫻井敏雄氏をお招きし、『桃山様式はどのように成立したのか』と題して開催されました。

桃山様式が室町時代後期より準備されたものであり、豊臣秀吉の全国統一後、優れた建築集団により各地の城郭建築を始め、他の建築にも広まっていったこと。きらびやかな建築スタイルが完成し、秀吉没後も子秀頼によって社寺修理造営が行われたこと等、パワーポイントにより、わかりやすく細やかなご説明を頂きました。

「日本伝統建築技能養成研修」が始まりました。

7月14日・15日 in ハ王子セミナーハウス



前期研修には、全国より24名が受講しております。

木割の講義で、斗拱の作図をしています。



私が理事を務めさせていただいております、日本伝統建築技術保存会では、後継者育成のための日本伝統建築技能養成研修を開催しております。

研修は、前期研修、後期研修、棟梁研修の3つに分かれていて、今年は、前期研修、棟梁研修が東日本で開催され、私は、前期研修と棟梁研修の補佐としてお手伝いをさせて頂いております。

私も、2年前に棟梁研修を受講し、認定試験に合格いたしました。

ご住所

お名前

- 1.メールで配信してほしい
- 2.郵送してほしい
- 3.配信・郵送を停止してほしい

希望番号

メールアドレス uchida@miyadaiku.jp
ファックス 0463-93-6591
(ファックスの場合はそのまま送信下さい。)

新規配信郵送や配信方法変更を希望される方はメール・ファックスにてお知らせ下さい。